

■平成28年度 小牧市障害者自立支援協議会 各連絡会事業報告

連絡会	目標	実績	内 容	今後取り組むこと
就労支援連絡会	①市内の企業とつながり、仕事を受注。 ②一般就労につなぐ。	会議3回 尾張北部圏域障がい者雇用推進セミナーへの参加 (2/17) ガイドブック作成	①事業所として困っていることや課題の共有 ②事例報告 ③ガイドブック作成について ④新事業所の紹介 ⑤尾張北部圏域障がい者雇用推進セミナーについて 尾張北部圏域障がい者雇用推進セミナー（事前作業部会3回） ①就労系事業所ワークショップへの参加 ②パネル作成 ①仕事・販路拡大、就労先を探すという共通の課題から、統一した内容構成のパンフレット（ガイドブック）の作成。（作業部会2回） ②尾張北部圏域障がい者雇用推進セミナーでガイドブック配布及び小牧市ホームページ掲載。パネル作成及び掲示。	①一般企業への就労移行、就労定着に向けた支援 ②就労系障害福祉サービス事業所を一般企業や市民の方への情報発信（認知度向上） ③就労系障害福祉サービス事業所の受注の増加 ④就労する為に必要な支援（こども連絡会との情報交換） ⑤就労と生活の両面からの支援（相談支援事業所連絡会との連携）
就労支援連絡会と日中活動系連絡会合同	①特別支援学校との連携 ②卒業後の行き場の確保	小牧・春日台・一宮東特別支援学校との進路情報交換会2回	①小牧市内在住の生徒数、進路スケジュール及び実習先決定の方法の確認。 ②小牧・春日台・一宮東特別支援学校の進路状況を共有し、情報交換をした。	①各特別支援学校と各事業所の情報交換は出来るようになってきたため、その情報をいかに生徒や保護者のもとに漏れが無いように伝えていくかの伝達方法を模索する。

日中活動系連絡会	①事業所同士の連携、横のつながりの強化。 ②地域とのつながりづくり。	会議 4 回	①事業所の防災の取組みを共有。 ②事業所の備蓄品のリスト化。 ③福祉避難所や危機管理課、災害ボランティアセンターの役割の説明を学習、勉強。 ④日中活動中に震度 6 強の震災が発生したと想定し、自助、共助の部分においてグループワークを行う。	①震度 6 強の震災が発生時に事業所間での連携を主に何が出来るかを模索中。 ②事業所の職員対応、各事業所の防災マニュアルを作成することにより、防災への意識を高める。
		災害ボランティアセンター立ち上げ訓練への参加 (1/29)	ボランティア側の立場から活動参加体験をし、理解する。 参加者：9 事業所 9 名	
相談支援事業所連絡会	①相談員の質の向上	会議 3 回	①一宮医療療育センターより施設紹介 ②事業計画の内容を共有しスキルアップ研修 (1/19 予定) について話し合う ③各事業所の情報交換 ④困難ケースの事例検討 ⑤「本人にとって必要な支援」というテーマで相談員の意見交換会 ⑥地域福祉課より障害福祉サービス等についての情報提供	①スーパーバイズ機能が求められている。市内でスーパーバイズができる相談員の養成。 ②個々のケアマネジメント能力向上。 ③相談員同士の連携、横のつながりを密にしていく。
		相談支援専門員等資質向上研修会 (1/19)	連絡会で出された「相談支援専門員の質の向上」についての研修会を実施した。 講師：半田市社会福祉協議会 前山憲一氏 参加者：17 名	
		市内サービス等利用計画、障害児相談支援計画作成件数	障がい者 770 件 (内セルフプラン 162 件) ※市内 10 事業所他で作成 障がい児 346 件 (内セルフプラン 123 件) ※市内 7 事業所他で作成 【平成 28 年 12 月末現在】	

<p>こども連絡会</p> <p>※障害児等地域療育支援事業とは 実施主体：愛知県 事業の主旨：在宅障害児（者）のライフステージに応じた地域での生活を支援するため、障害児（者）施設の有する機能を活用し、療育、相談体制の充実を図るとともに、各種福祉サービスの提供の援助や調整等を行い、地域の在宅障害児（者）及びその過程の福祉の向上を図る</p>	<p>①次のライフステージへスムーズに移ることができるような仕組みをつくる</p>	<p>会議 3 回</p>	<p>事前アンケートをとり、乳幼児・小学生・中高生の3分野に分かれて、情報交換や課題を出す。</p>	<p>○乳幼児分野</p> <p>①成長記録ノートの活用、普及の継続</p> <p>②自傷他害のある子への対応についての意見交換</p> <p>○小学生分野</p> <p>① 児童クラブ、児童館との連携</p> <p>② 小学校入学後に成長記録ノートを作成したい時の支援</p> <p>③ 地域の小学校特別支援コーディネーターと、放課後等デイサービスや相談員との連携</p> <p>○中高生分野</p> <p>① 関係機関、保護者へ向けた性に関する研修会</p> <p>② 就労系事業所、放課後等デイサービス、保護者との情報交換会</p> <p>その他</p> <p>○キャラバン隊（発達障がいの疑似体験）の開催</p>
		<p>療育支援事業とコラボレーション事例検討会 3 回</p>	<p>連絡会で出された課題「学校との連携」「家族との連携」についての事例検討会を療育支援事業と合同で実施。</p> <p>小学生事例 参加者：31名 中学生事例 参加者：30名 高校生事例 参加者：27名</p>	
		<p>療育支援事業との合同研修会 1 回 (11/29)</p> <p>「成長記録ノートの概要」 「成長記録ノート活用例」</p>	<p>連絡会で出された課題「成長の記録」についての研修会を療育支援事業と合同で実施。</p> <p>説明者：保健センター、あさひ学園、保育園、保護者、児童デイサービス</p> <p>参加者：35名</p>	
		<p>研修会 1 回</p> <p>「障がいのある中・高校生の性に関する研修会」(12/6)</p>	<p>連絡会で出された課題「中高生の性」についての研修会を実施。</p> <p>講師：日本福祉大学 子ども発達学部 准教授 伊藤修毅氏</p> <p>対象：市内障害福祉関係者</p> <p>参加者：76名</p>	
<p>委託相談支援事業所連絡会</p>	<p>①相談支援専門員のスキルアップ</p> <p>②相談支援事業所や障がい福祉全般についての広報、市民へのPR</p>	<p>会議 4 回</p>	<p>①相談支援専門員のスキルアップについて</p> <p>②相談支援事業所や障がい福祉全般についての広報、市民へのPRについて</p>	<p>①相談支援の質の向上</p>
		<p>市広報掲載 (12/1)</p>	<p>相談支援事業所や障がい福祉全般についての広報、市民へのPR</p>	

